

おばなざわ 市議会だより

謹賀新年

新年元旦に幸多かれと祈願

毎年元旦の零時から約1時間半、諏訪神社の境内にて尾花沢市無形文化財の「尾花沢雅楽」と、豊栄の舞（巫女舞）が奉納されます。今年は雪明かりの参道で待つ参拝者が次々と、一年の様々な願いを込めて手を合わせていました。

12月定例会

補正予算の審議／議会日誌	2
議案の審議	3
一般質問	4
可決された議案／請願の審査結果	9
広域組合議会の報告／ 森林・林業・林産業活性化促進議員連盟研修	10
行政調査報告	11
私のひとこと／人のうごき／あとかぎ	12



平成23年12月定例会

一般会計 7,218万円 減額補正(予算総額104億246万円)

国民健康保険特別会計

事業勘定 545万円 減額補正(予算総額25億5,658万円)

中央診療所勘定 1,622万円 追加補正(予算総額 5 億4,014万円)

介護保険特別会計 228万円 減額補正(予算総額17億1,952万円)



古城山の発掘調査の様子

質 延沢銀山遺跡埋蔵文化財調査事業補助金について、本年度は大震災で発掘調査が見送りと成り、減額されましたが、明年度からの見直しはどうですか。

答 第8次までの発掘調査のうち、5次まで終了したわけですが、内部で充分検討させていただきます。

12月定例会

補正予算の審議

埋蔵文化財の発掘調査

平成23年12月定例会は、11月29日から12月6日までの8日間の会期で開催されました。29日に加藤市長から市政概況報告と平成23年度一般会計補正予算、特別会計補正予算3案件を含む10案件が上程され、提案理由の説明がありました。さらに、請願4案件は常任委員会に付託し審査されました。

1日、2日の一般質問では、10名の議員が市政全般にわたり市当局の考えを質しました。

最終日の6日には、本会議が開催され、当局からの全議案と追加された議案1件は慎重審議の結果、いずれも原案の通り可決されました。

質 11月30日に銀山線の花笠バス横転事故が発生しましたが、事故後の対応が遅れたのはなぜですか。

答 代替バスの連絡に時間がかったことをお詫びします。公共交通機関として重く受け止めて、再発防止と予備車対応を十分に検討していきます。

質 債務負担行為補正で市営路線バス運行業務委託を2年契約にしたのはなぜですか。

答 これまで1年契約でしたが、2年契約で運転業務員の雇用の確保を図るためです。

質 宮沢中学校の統合によって、スクールバス購入事業ですが、どのような方針ですか。

答 購入されるスクールバスは、保育園児バスとの一体化運用で取り組んでいきます。また、運行にあたっては安全第一であり、運転業務者は年齢制限など充分考慮していきます。

議会日程誌

10月

- 4日 全員協議会 議員定数報酬について 議会だより編集委員会
- 5日 環境衛生事業組合議会衛生常任委員会
- 7日 農林水産畜産事情調査
- 8日～9日 第11回まるだし尾花沢ふれあいまつり
- 11日～13日 総務文教常任委員会行政調査
- 12日 産業建設常任委員会
- 14日 市民厚生常任委員会
- 環境衛生事業組合議会
- 15日 やまがた美しい森林づくり推進大会
- 16日 鮭のふるさとまつり
- 18日～20日 市民厚生常任委員会行政調査
- 21日 環境衛生事業組合議会10月定例会
- 26日～28日 産業建設常任委員会行政調査



議案の審議

市職員定数条例の一部を改正

質 今回の改正で市職員定数が増えていますが、どうしてですか。

答 教育委員会の事務局の職員「98人」を「41人」に改め、平成28年にかけての大量退職の消防職員を補充するために「47人」を「51人」に改め、職員総計では「383人」を「310人」に改めます。

花笠高原施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正

質 花笠高原スキー場の運営と使用料の見直しはどのように改めるのですか。

答 今年度12月17日にオープンした花笠高原スキー場の使用料を大幅に見直しをして立て直しを図ります。営業時間については、月曜日から木曜日までが17時30分から21時まで、金曜日から日曜日と祝日は9時から21時までとします。小学生未満は無料とし、オールシーズン券1万6千円（早期予約1万3千円）、簡易リフト1日券を500円、簡易リフト4時間券400円、ナイターの部簡易リフト券は簡易リフトのみ使用できるものとし、それ

花笠高原スキー場リフト使用料

券種	適用時間	大人	小・中学生	シニア
1回券	9:00~17:00	160円	80円	120円
回数券(11回)	9:00~17:00	1,600円	800円	1,200円
4時間券	9:00~17:00	1,200円	600円	900円
1日券	9:00~17:00	1,500円	800円	1,100円
簡易リフト4時間券	9:00~17:00	400円	100円	200円
簡易リフト1日券	9:00~17:00	500円	150円	250円
ナイターの部				
1回券	17:30~21:00	200円	100円	150円
ナイター券	17:30~21:00	1,300円	700円	1,000円
簡易リフト券	17:30~21:00	500円	200円	300円
オールシーズン券				
(オープン前日まで)		13,000円	6,500円	10,000円
(オープンから期間終了)		16,000円	7,500円	12,000円
(2月から期間終了)		13,000円	6,500円	10,000円
(3月から期間終了)		6,500円	3,000円	4,500円
団体割引	10~20名の団体の場合、上記金額の1割引(1回券は除く) 21名以上の団体の場合、上記金額の2割引(1回券は除く)			
施設併用割引	森のホテル御所山及びログハウスへ宿泊の方は上記金額の3割引(1回券・オールシーズン券は除く)			



花笠高原スキー場開きの様子(12月17日 鶴子)



おばねのヒーロー「ごっつお3」が12月31日会場を盛り上げてくれました。

以外のリフト券はベアリフト及び簡易リフト共通とします。

11月

- 8日 総務文教常任委員会 会派代表者会
- 11日 全員協議会 議員定数報酬について
- 16日 尾花沢平和を願う集い
- 18日 産業建設常任委員会 除雪車出動式
- 20日 林活研修会
- 22日 婦人防火のつどい
- 22日 議会運営委員会 会派会合
- 24日 全員協議会 (国営施設保全事業 他)
- 29日 総務文教常任委員会管内調査
- 30日 12月定例会 各常任委員会

12月

- 8日 東日本大震災被害等対策特別委員会
- 9日 環境衛生事業組合議会
- 13日 産業建設常任委員会管内調査 会派代表者会
- 16日 議会だより編集委員会 財務行政懇話会
- 17日 花笠高原スキー場開き
- 19日 どぶろく花笠みぞれ新酒発表会
- 22日 北村山公立病院議会
- 23日 議会だより編集委員会 社会福祉法人尾花沢福祉会評議員会
- 26日 幻酒翁山新酒発表会
- 29日 北村山広域行政事務組合議会 議会だより編集委員会



12月定例会

一般質問



塩原未知子 議員

まずは官民あげての
婚活支援事業をすべき

質 近年、市内で開催された婚活のイベントが一つもありません。近隣市町村では活発に行われ成果を上げていると聞きます。昨年内では年間113人の出生し

答 尾花沢市結婚促進協議会を核として推進、「やまがた婚活応援ももろろん大切ですが、その前に婚活事業を官民あげて早急に取組むべきではないですか。

質 緊急エリアメールを導入したそうですが、テストはしましたか。また、防災ハザードマップ作成状況、災害ボランティア体制、避難場所の各公民館の支援体制についてどうですか。

答 緊急エリアメールの送信テストについては、近日中（12月9日）実施予定です。防災マップの作成は洪水避難地図や土砂災害避難マップ、集落単位の防災マップなど、順次作成していきたい。ボランティア体制については、今後さらなるボランティア精神を醸成していきたい。

また、避難所となる公民館の支援体制は、各公民館の相互連携を含め指導を強化していきたい。**質** 近年特に優秀な新人の登用が多いと聞きます。やる気のある新人に特別な訓練や待遇や評価制度などありますか。**答** 職員研修の中、昨年は政策立案研修、さらに今年度CM大賞の制作研修など、若手職員を中心にした研修を実施しています。今後とも将来を担う新人職員の能力開発・人材育成に積極的に取組んでいきます。

質 徳良湖・花笠・まるだし尾花沢・雪まつりを総括する「尾花沢市四大祭実行委員会」の今年度の開催はいつですか。また、今後の宣伝戦略はいかがですか。**答** 実行委員会は毎年3月頃に開催し、当該年度の事業や決算の報告と翌年度の事業計画や予算の審議を行っており、本年度も3月頃に開催する予定です。宣伝戦略については、各まつり共通のポスターを製作したり、インターネットを活用した早めの宣伝活動ができるよう検討します。

市長 道の駅「ねまる」や徳良湖周辺施設、花笠高原施設など33の施設が、平成23年度で指定管理期間が満了となります。今後は、設置目的やこれまでの管理運営を検証し、非公募により選定したいと考えています。

質 指定管理制度については、民間能力の活用、住民サービスの向上、経費の節減等を考慮し、抜本的な見直しが必要ではないですか。**市長** 道の駅「ねまる」や徳良湖周辺施設、花笠高原施設など33の施設が、平成23年度で指定管理期間が満了となります。今後は、設置目的やこれまでの管理運営を検証し、非公募により選定したいと考えています。



青野隆一 議員

来年度の政策要望と
財源の確保について

については、来年度に制度改正が予定されていて、補助制度の把握と活用を含めて検討を行っていきます。

質 大自然プールの開設や、俳句のまち尾花沢の全国的な発信について検討してはどうですか。**教育長** 子どもたちが自然に触れることは、心身が鍛えられ貴重な体験になるので、学校と地域の方とで十分検討していきます。俳句のまちの全国発信については、現在実施している県少年少女俳句大会を継続発展させ、芭蕉サミット関係市町村とも連携しながら検討いたします。

質 平成24年度の予算編成に際し、花笠高原スキー場の運営の見直し等、尾花沢事業仕分けの実施による財源確保が必要と考えますがいかがですか。**課長** 来年度予算編成は、自主財源の確保に努め、引続き事務事業の徹底した見直しを行います。「元気なおばなざわ創造プラン」にある重点事業や、市民生活の安全安心に直結する事業に積極的に取組みます。

市長 児童の通学手段として、スクールバス等の運行を計画しており、学校プールは、統合するまでに設置する予定です。駐車場や放課後児童クラブ等については、保護者の方々や統合準備委員会の声を聞きながら設置に向けて検討いたします。

質 特別支援学校楯岡校をさらに拡充し、児童デイサービス事業所を開設してはいかがですか。**市長** 児童デイサービス事業に



12月定例会

一般質問



武田佳久 議員

「農業」の活性化なくして
尾花沢市の活性化あらず

質 農業のこれからの展望をどこに見出しただけよいか、それを実現するためには、尾花沢市の農林行政をどのように推し進めていくのか、現在の農業生産の何をポイントに改革を進めて農家の所得・生産性の安定を目指していくのか質問します。

市長 農業公社の設立については、今後の検討課題です。資源循環型社会をつくるべきとの指摘ですが、本市では今後ともその実現に向け、積極的に取り組んでいきます。農家の経営改善については、「ほその母ちゃん広場」、



大根加工施設、旧荻袋保育園の「花野果加工」、徳良湖の「花笠産直」やその他6次産業化にむけての施設等への支援を今後とも継続していきます。

質 花笠高原施設運営は指定管理料が市の財政をさらに圧迫するのであれば、とても改善案と

はいいがたく、大きく発想の転換をしなければならぬ時期に差し迫っていると思いますがいかがですか。

市長 新年度からは、改善計画に沿った運営をすべく、次期の指定管理もふるさと振興公社にお願いしたいと考えています。

質 指名競争入札は、指名行為が不透明であると指摘されているのであれば、市民の立場に立った透明性のあるシステムをつくるべきだと思います。指名から指名審査、入札の実施までの流れについて伺います。

市長 今後とも引き続き、入札及び契約過程や契約内容に関して公表し、透明性を高め、公正で公平な事業執行に努めていきたいと考えています。入札参加資格のランク付けについては、客観的事項である県の経営審査数値に、市の工事成績の格付け等級を算定しています。指名業者の選定審査については、工事高に

応じて入札参加範囲の基準を定めた「指名業者選定基準」に基づき指名審査会で審査を行い、決定しています。



小関英子 議員

独居世帯の救急搬送時の
対策について

質 冬期間の通学路の安全な通行確保のために、除排雪を一体化したモデル地区を実施してはどうですか。

市長 いろいろな除排雪作業の方法が考えられますが、効率的・効果的な除排雪作業を行えるか検討していきます。

質 独居世帯等の救急通報システムに加えて、万一の救急搬送時に備えて病状等の正確な情報が把握できるシステムづくりを行うてはいかがですか。

市長 今後の対策として、「救急安心カード」の活用が全国的に広がっており、適切な措置が速やかに受けられる利点もあり、導入を検討いたします。

質 市民の安心安全のために、長期展望にたつた消防署職員の採用計画はありますか。

市長 消防職員は、今後数年で大量退職が予定されます。消防及び救急業務など、市民サービスに支障がないよう年次別に前倒しを含む採用ができるよう市職員の定数条例の一部を改正し、対応する計画です。

質 子宮頸がん等予防接種で副

作用等の報告はあります。また、ポリオの生ワクチン接種から不活化ワクチンへ早期実現に向け、県・国への対応をどう考えていますか。

市長 子宮頸がんワクチンの副作用は、医療機関から直接厚生労働省に報告され、市内医療機関からは1名の発熱症状の連絡がありました。ポリオについては厚労省は、現在、不活化ワクチンへの移行を検討しています。

早ければ来年にも三種混合ワクチンと不活化ポリオワクチンの混合ワクチンの導入が想定されます。現段階では、生ワクチンの接種の勧奨を行うことになりませんが、国・県に対して、早急に不活化ワクチンの導入を要望していきます。

質 猿・イノシシ等の有害鳥獣の対策に「モンキードッグ」の取組みについて伺います。

市長 モンキードッグについては、犬とともに飼い主も訓練をする必要があります。犬を放すには、集落の皆さんの理解と同意が必要であり、すぐに実施するのは困難と思われる。



12月定例会

一般質問



星川睦子 議員

市の財政力に見合った
給与水準を

質 人件費が市税収入をはるかに上回り、厳しい財政状況にあります。年金支給減額・国家公務員給与引き下げ等の社会情勢から、市の人件費削減を検討すべきです。また、市報等に解釈を付け解りやすくしてください。

市長 人件費の推移は、職員数の削減を図るなど年々減少しています。今後とも多様な行政需要に応えるべく職員のモチベーションを維持し、厳しい財政事情を考慮しつつ対応したいと考えています。また、職員の給与については、市報やホームページ等でお知らせしています。

質 図書館の一部業務委託料はいくらかですか。また、ICチップによる蔵書管理を検討してはどうか。

教育長 図書館は市直営で、一部をふるさと振興公社へ業務委託をしています。ICチップ導入については、限られた財源の中で緊急性や費用対効果なども十分精査の上、検討していきます。
質 ABESAの好評を商店街や町全体の活性化に結びつけるため、子育て支援として公共施設

設への授乳室やおむつ交換台設置、飲食店の幼児食メニューなど、さらに進めてはどうか。

市長 ABESAの利用者は十月末3万2千400人です。「やまがた子育て応援パスポート事業」に市内42店舗が登録しており、ABESAで紹介していきます。

質 流雪溝が整備されても水が少ないという問題があります。冬期間の水量確保についてどのような対策をとっていますか。

市長 本町地区は、当面、現状の中でできる限り多くの水量確保に努めていきます。本町以外の地区も、水利権取得のための調査中であり、水利権の早期確保に向けて努力していきます。

質 廃油からつくられるBDFを農作業機械などに使い、利用拡大を図ってはどうか。

市長 生物由来の資源から精製されるバイオ燃料の活用は、地球温暖化を防止し、循環型社会形成に寄与する重要な取組みです。農作業用機械への利用などについて検討していきます。



奥山 格 議員

TPPと農業問題について

質 TPPに参加し、農産物の関税が撤廃されれば日本の農産物は太刀打ちできず、食料自給率も13%に下がるというわらわらいますので、TPPには慎重に対応すべきではないですか。

市長 米と畜産の生産額が67%を占める本市の基幹産業である農業への影響は甚大です。他産業に与える影響も大きく、国の将来の農業政策やビジョンが明確でない中で交渉参加は現時点では反対です。

質 本市の肉牛や米等について、放射性物質の風評被害を取り除く対策は考えていますか。

市長 市場価格の低迷などの風評被害対策として、「尾花沢牛肉まつり」や「山形県産牛おいしさ・安全アピール大会」を東京、大阪などで生産者、流通関係者や一般消費者が一体となりキャンペーンを開催しました。

質 本市の企業誘致活動の現状はどうなっていますか。

市長 昨年度の企業立地意向調査をもとに、各県の企業などを訪問し誘致活動に努めています。今年度も調査企業のうち新設、

増設、移転など投資計画がある企業に対して誘致のPRを行っています。

質 医師、看護師を増員し、最新の医療機器を導入し、増床して、中央診療所を増築する考えはないですか。

市長 今年内科医を採用し、診療体制の充実を図りました。診療所スペースを有効に活用しながら、カルテの電子化を検討するとともに医療機器も年次計画で導入していきます。

質 延沢銀山の盛時の町の姿、野辺沢氏が最上氏の重臣として活躍した歴史や当時の街の姿などを復元して、常設的に展示してはいかがですか。

教育長 延沢城跡については、発掘調査の結果と発掘物の保存処理状況を見ながら検討を重ね整備を行っていきます。

質 今年の除雪体制はどうなっていますか。

市長 これまでと同様に市全体を4工区に分けて除雪委託業務を発注し、道路延長約100kmを50台の除雪機械で冬季交通の確保を図る計画です。



12月定例会

一般質問



加藤克彦 議員

冬でも雪が積もらない
まちづくりを



石塚ミツ子 議員

大震災に備えて
心配しないで住める住宅を

質 入札基準の公表は明確にし、県の公表基準に合わせて公表してはどうですか。現制度の指名競争入札制度を見直し、条件付一般競争入札を導入してはどうですか。

市長 入札制度の更なる透明性を高めるためにも、格付結果のほか、格付基準及び指名選定基準に合わせた内容で、来年度から公表したいと考えています。条件付一般競争入札の導入については、これまで以上に公平性・透明性を高めるために、現行の指名競争入札制度と併せて導入していく予定です。

質 TPPの参加が決定的な状況下を踏まえ、やる気のある農業者支援を含め、今後農業政策にどのように取組みますか。
市長 米・スイカ・和牛の今後の戦略的なPR方法はどうですか。

市長 意欲ある多様な経営者を育成し、農業の競争力・体質強化、そして農地の整備、安定的な水利システムの維持などが必要です。具体的には、短期間に耕作地の面積集約を推進するため、農地の貸し手への優遇助成

制度を実施したいと考えています。畜産においては、「雪降り和牛尾花沢」の品質向上とともに、ブランド確立に努めていきます。すいかについては、健康食品や飲料水・製菓材料への利用など6次産業に向けて調査検討をしていきます。

質 第6次振興計画も策定になり、現在の状況を踏まえ都市計画マスタープランを新たに見直す考えはどうか。バイパス交差点は、朝夕と土日祝日の渋滞緩和対策と下新田地区の用途を見直し、下新田地区をモデル地区に位置づけて、再生可能エネルギーを活用した、除雪をしないまちづくり、冬でも雪が積もらないまちづくりを目指し、融雪を充実した新しいまちづくりを実施してはどうですか。

市長 「都市計画マスタープラン」を策定してから十年が経過し、その効果と達成率などについて第6次総合振興計画に沿って検証を行なっています。下新田地区の商業地域や受託分譲などの用途見直しなどについて、内部で検討を進めていきます。

質 昭和54年以前に建てた住宅で、耐震強化を図る対象となる家屋1千850戸を、平成27年度までに耐震化率を90%とすることを定めている「耐震改修推進計画」がありますが、どのように進めますか。

市長 一般住宅の耐震化率は、平成21年で全体の59.2%と見込まれています。市民の耐震化への意識向上を図るため、「耐震対策説明会」の開催や「住宅リフォーム緊急支援事業」の活用により、耐震性の向上を図られるものと期待しています。

質 避難所となる地区公民館などの公共施設も平成27年度までに耐震化率を90%にする計画ですが、どのように推進しますか。

市長 公共施設の耐震化率は、現在木造以外で62%です。今後計画されている小中学校の統廃合の実施などで、平成27年期限まで85%が耐震化になる予定です。今後とも順次、耐震工事を行うなど総合的に推進していく計画です。

質 高齢者の福祉が後退となっています。紙おむつ支給や除雪

券支給の支給要件を元に戻す考えはないですか。

市長 平成19年度に制度の見直しをして現在の状況にあります。この件については、今後の検討課題といたします。

質 平成24年3月で切れる指定管理施設の特に赤字が年々増えている花笠高原の施設（森のホテルなど）の運営はどうするのですか。また、3千万円の赤字はどのように解消する考えですか。

市長 花笠高原施設の運営は、本年5月に外部委員を含めた運営検討委員会を立上げて改善案をまとめ、10月から一部試行をしています。市民福祉の向上や雇用の創出、交流人口の拡大による地域振興という観点から施設の継続を前提に検討しました。新年度からは改善案を本格的に実施し、(株)尾花沢市ふるさと振興公社を指定し、改善案に沿った運営と、さらなる経営努力で赤字幅を縮小できると考えています。



可決された議案

12月定例会

- ◎議第50号 平成23年度尾花沢市一般会計補正予算(第5号)
- ◎議第51号 平成23年度尾花沢市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
- ◎議第52号 平成23年度尾花沢市簡易水道特別会計補正予算(第3号)
- ◎議第53号 平成23年度尾花沢市介護保険特別会計補正予算(第2号)
- ◎議第54号 尾花沢市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について
- ◎議第55号 尾花沢市花笠高原施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ◎議第56号 尾花沢市過疎地域自立促進計画の一部変更について
- ◎議第57号 人権擁護委員の推薦について
- ◎議第58号 尾花沢市管内財産区管理会委員の選任について

- ◎議第59号 尾花沢市教育委員会委員の任命について

議案

- ◎議案第13号 「脱原発」と「自然エネルギーの導入」を求める意見書の提出について

「おくのほそ道そば街道」 雪室そばの貯蔵に活躍中!



雪室の雪を敷き詰めている様子
(ゆう遊三味会の皆さん)



徳良湖温泉 花笠の湯の雪室

平成23年請願第23号
◎年金受給資格期間の10年への

継続審査される請願

全日本年金者組合
板垣とも子
菅藤清一郎
吉田 春夫

平成23年請願第24号
◎無年金・低年金者への基礎年金
金庫負担分の3.3万円の支給
を求める請願

不採択となった請願

北村山地区母親大会会長
鈴木ミツエ

平成23年請願第22号
◎「脱原発」と「自然エネルギーの導入」を求める意見書の提出に関する請願



市道西原線側溝

西原第一区長 菅野 一磨
西原第二区長 溝越 清治

平成23年請願第21号
◎市道西原線側溝整備工事に関する請願

採択された請願

請願の審査結果

短縮を求める請願

全日本年金者組合
北村山支部長 板垣とも子
菅藤清一郎
吉田 春夫

議案

◎議案第13号

「脱原発」と「自然エネルギーの導入」を求める意見書の提出について

3月11日に発生した東日本大震災による福島第1原子力発電所の事故は、収束の見通しどころか未だに予断を許さない危険な状況にあります。放射能はたとえ微量であっても、細胞を損傷し、「安全線量」と言えるものは存在せず、浴びれば浴びるだけ健康被害を引き起こす危険性が高くなることが指摘されています。原発事故の起きた福島県から、子どもたちの健康被害を心配し、山形県への避難はまだまだ続いていきます。放射性物質が外部に放出されると、それを抑える手段は存在しなく、どこまでも被害が広がり、将来にわたり長期間の危害を及ぼします。さらに地域社会の存続さえ危うくします。

したがって、人間が人間らしく生活を営むことができるよう脱原発と自然エネルギーの導入を求めます。



広域組合議会の報告

北村山公立病院組合議会

北村山公立病院組合議会の第3回定例会が12月22日、東根市議場で開催され、平成23年度組合事業会計補正予算と議員派遣の2議案が上程されました。

事業会計補正予算は、当初予算に比し、年間予定患者数を入院は7千320人減、外来は4千819人減の、それぞれ、入院10万4千310人（1日平均285人）、外来12万131人（1日平均490人）とし、また病院事業収益を、2億2千59万円減の53億2千792万円とし、事業費用を、1億66万円減の54億4千786万円に補正し、その結果、23年度の事業収支の見通しを1億1千993万円の赤字とするものです。その要因は、診療単価は増加したものの、医師不足により患者数が減少したことによるものです。

審議の結果いずれも原案通り可決されました。

また、空席になっていた副議長に能登淳一村山市議会議長を選任しました。

北村山広域事業組合

平成23年12月26日村山市議会議場において、村山市、大石田町の議員の改選を受け議会議長の選挙を行ないました。その結果、村山市の茨木久彌議員が当選しました。

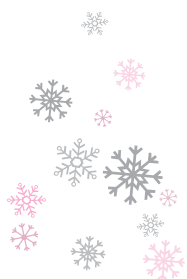
旧新生園体育館は、昭和49年に開設してから平成27年の処分までまだ数年ありますが、昨年2月の豪雪で、屋根や窓ガラスの破損があり、危険であることから解体工事に関する議案を上程、この度、平成23年11月8日付けで財産処分の報告を県に提出し、11月17日付けで厚生労働省が受理され、財産処分が調整終了しました。解体に関しては補助金の返還をすることなく、平成24年度中に解体することが決まりました。

尾花沢市大石田町 環境衛生事務組合臨時議会

大石田町長、町議会議員選挙に伴い、12月9日に臨時会が開催され、副管理者に新町長の庄司喜與太氏が就任しました。議長には齊藤公一氏を再任、水道常任委員長及び議会運営委員長に青木久子氏、衛生常任副委員長に小玉勇氏、任期満了となった監査委員には関孝悦氏が選任されました。

平成23年度一般会計補正予算、公共下水道事業会計補正予算、水道事業会計補正予算が上程され、慎重審議の結果原案通り可決されました。

緊急案件であるし尿処理施設更新について経過報告と検討資料が提示され、延期となった先進地視察などについて活発な質疑がなされました。市民町民に有益な施設建設がなされるよう、これからもしっかりと議論を重ねていく必要があります。



森林・林業・林産業 活性化促進議員連盟研修

◎ 琴の森視察

長根山運動公園、クロスカントリーのコース付近に琴の森があります。面積10ha。市内の協力企業が県内から募集して、様々な活動が行われています。6・7・10月の3回、元気琴の森もりこども塾を開催し300人の参加者が集まり、桜の木植樹・お宝探し・ちゃんこ鍋の昼食会などを行ったそうです。森林・林業体験では、参加者20名で、刈払機の技術研修や実際に除草作業も行っているそうです。

◎ ブナ共生の森

寺町地区に、約80haにおよぶ天然ブナ林があります。平成元年から四年計画で260万円かけ整備されました。平成16年に美しい日本の歩きたくなるみち500選に選ばれた遊歩道を20分ほどかけて散策しました。



寺町のブナ林散策道のゴール地点、紅サーキット場にて



行政調査報告

総務文教常任委員会

・調査期日 10月11日～13日
 ◎大分県別府市 八湯温泉に係る地域おこしについて

景気低迷による客の減少傾向に、NPO法人が主体となつて、資源の活用や文化等をPRしながら、観光客の増大を図り実績をあげていました。本市も年間200万人の誘客を目指し努力すべきです。

◎八丁原地熱発電について

豊富な自然エネルギーを活用し、11万kWの電力を供給しています。原発の危険性を考えると、今後、自然エネルギーの活用を国の政策として早急に取組む必要があります。



八丁原地熱発電所(大分県玖珠郡九重町)

市民厚生常任委員会

◎熊本市 複合施設について
 駅周辺活性化のための施設で文化・交流の拠点として期待されるものでした。本市においても、今後庁舎建設検討委員会などで、複合施設等も検討する必要があると考えます。

・調査期日 10月18日～20日

◎岡山県真庭市 バイオマスウン真庭について

地域にある豊富で多様なバイオマス資源を産業振興や環境保全に活用して、市民の暮らしに活かそうとしていました。また次世代エネルギーパークの認定を受けていました。

◎鳥取県産業技術センター マイクロ水力発電と中山間地域振興について

中山間地の農業用水等を利用し、150W～1.5kWの発電をするマイクロ水力発電のはめ込み式と導水式の事例を視察してきました。

◎島根県奥出雲町 光ファイバー網によるコミュニケーション整備事業

奥出雲は中山間地域にあり、テレビ電話を活用して、急速に

増えつつある高齢者世帯に対し、声がけ見守り、健康管理、買物支援を含めた地域ぐるみの高齢者支援体制を目指していました。



奥出雲町役場にて

産業建設常任委員会

・調査期日 10月26日～28日
 ◎石川県小松市 国内向けバス製造工場、ジェイ・バスについて

日野自動車・いすゞ自動車のバス部門経営統合による合併会社として設立。隣接地の協力を極力持たない徹底した生産ラインシステムです。多雪地方における企業立地条件等、伺いました。

◎福井県坂井市 自然・歴史・味を堪能する観光づくりプロジェクトについて

4市町の合併に伴い、観光拠点づくりの連盟を結成。味の地

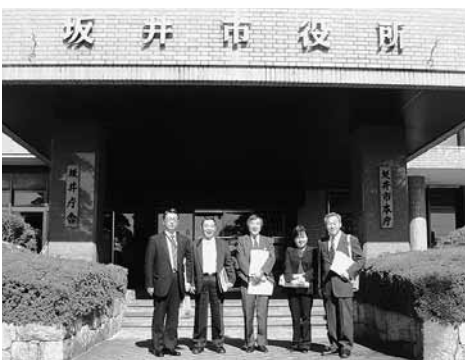
産を開発中でした。合併後の諸問題解決に苦慮している様子が伺えました。

◎福井県池田町 美しい農村づくりプロジェクト

環境日本一の町。ゴミは資源であるとの考えに基づき、町民による生ごみ収集が行われ「土魂壤」という堆肥を作り、有機農業による安全性を印象づけています。特徴は消費地である福井市内に町の直営店を運営し、町民の収入増に貢献していることです。尾花沢市に参考になるヒントが多くありました。

◎加賀市 自転車に乘ろう！プロジェクトについて

市道の路肩に整備された自転車専用レーンを視察しました。安全性とCO₂削減による温暖化対策のため、車依存から自転車への転換を進める施策は、積極的に学ぶべき点と思いました。



合併後の坂井市役所前にて



私のひとりごと



小川 敦雄 さん
(桒町)

◎おばなざわ市議会 12月定例会を傍聴して

任期満了に伴う尾花沢市議会議員選挙が去る7月10日に投票が行われ、新しい16名の議員が決まり早や6カ月が経ちました。新人5名が全員当選し昭和34年の市制施行後、初めて女性議員4名が誕生し、新しい視点で市民が「住みやすく、住んでて良かった」と思え



大類 美喜夫 さん
(田沢)

◎花笠産直の活動について

花笠産直は会員数25名で、徳良湖温泉駐車場入口の花野果ハウスでの土日祝日営業と銀山温泉での朝市や各地で行われるイベント等への出張販売を主

る尾花沢市発展のために「尽力戴けるものと確信しています」。

傍聴前日、議員になられた方が市民に公約を掲げた選挙広報に改めて目を通しました。今回は2日間で10名の議員が質問いたしました。自己都合で3名の質問しか傍聴できず心残りです。毎回、議場に入っただけですが、市民の傍聴が少なく残念です。有権者として議員に付託した義務を自覚してほしいと願っています。そして、議場に足を運び議員の生の声に身を傾けて頂きたいと思えます。いつも感じる事ですが質問をする議員は大変勉強されていると思えます。ただ、これまでの経過や現状を踏まえた内容に留まっている傾向が多いように思われることもあり公約した自身の考えを具体的に主張して市民の信頼に応える努力をして頂きたいと思えます。市当局にも答弁の姿勢に疑問を感じることも多々見受けら

な活動としています。

活動の拠点となる花野果ハウスでは、お客様へお茶を出し、会員の持ち寄った漬け物や煮物等でお客様をもてなしており、他に季節毎のイベント、山菜祭り、すいか祭り、赤かぶ漬体験等を行い、お客様に喜んでもらっています。また、11月の出張販売では、会員9名で東京まで出向いて2日間で50万円ほどを売り上げました。

その他、加工品造りに組織として取り組んでおり、12月には花笠産直の中で2つ目となる加工グループ「食彩スタディオ P i a t t o」を立ち上げ、なるべく会員が生産した物を使って、商品造りをしているところです。その中で、きのこ作りの会員さんが、今ま

れました。答弁者は、質問された方を含め全議員に理解しやすい誠意を持った説明をされていますが、質問内容により答弁者同志が瞬時に顔を見合わせ答弁の判断に譲歩的な場面が見受けられる時もあり、何となく違和感を覚えることがあります。質問内容は事前に担当部署に通告されていると聞いています。瞬時の判断で自ら挙手して答弁する姿勢を持って頂きたいと思えます。また、議長の判断で質問内容を踏まえ答弁者を指名することはできないものなのか、質疑応答に改善すべき検討が必要と思えました。議場の雰囲気もやや緊張感に欠けているようにも感じられました。議員も市当局も市民も、尾花沢に誇りをもって住みよいまちのようにと思う気持ちは一体です。市長が目指している「夢かがやき 絆でむすぶ元気創造のまち尾花沢」を市民総参加で進めたいものです。

で捨てていた小さいきのこや茎の部分の商品化し、「斉藤さんちのちーちやいなめこ」の名称で、宮城県の方まで販売先を広げているところです。他の分野では農家レストランに興味を持った会員さんもいて、さまざまな模索をしているところです。

最近では個人主義が主流になっていますが、私達の会では「人と協力し合うことの大切さ」を柱にして、皆で能力を出し合い、活動しています。これから花笠産直という幹の部分から枝葉が多方向に広がりながら、大きくたく育っていく、次世代に託せる会になるように、色々なことに皆でチャレンジし続けたいと思っています。

議会傍聴に是非どうぞ

各議員と市執行部との真剣な質疑のやりとりを傍聴できます。ぜひ来てください。

議会事務局 ☎(22)1111

人のうごき

◎山形県後期高齢者医療広域連合
議会議員

菅根 光雄 議員

あとながき

新体制で議会だより編集を始めて2号目になります。今回は、表紙の写真の大きさと、議会日誌の欄を設け議会の動きが少しでも分かるようにしてみました。これからも、より分かりやすい議会だよりの編集に心掛けていきたいと思えます。
(大類好彦)

市議会だより編集委員

◎大類 好彦 ○塩原未知子

菅野 修一 武田 佳久

青野 隆一 星川 睦子

小関 英子

◎委員長 ○副委員長